

火の魂ファミリーの皆いつも本当にありがとう。

7月31日をもって株式会社火の魂カンパニーは第10期が終了いたしました。創業から数えると13年になりますが、個人から会社を設立してから10年が経ちました。火の魂カンパニーに関わる皆さんのお陰で今があると思っています。本当に第10期もご愛顧頂いた皆様ありがとうございます。

今期も社長が先頭に立ち成長していきますのでどうぞ宜しくお願いします。

さて、今回の社長からの手紙は先日行われた経営方針発表会を終え想うことや感じたことを綴っていきたいと思う。

毎年、経営方針会を開催し想うことは私の眼にはしっかりと前に進めている実感と自負があります。経営状態の事、お店の事、商品の事、働く人の事、価値観の合う社員が少しずつ良い方向性に進めています。

火の魂で働いている期間が短い人や、店長以下ですとあまり景色が変わらないように感じるのも事実だと思います。火の魂カンパニーは確実に良い方向に進めています。私は今から6年前に東京オリンピックが決まった年に一つの事を確信しました。それは東京オリンピックが終わる2021年以降から日本は益々不況の波が強くなり、社会は厳しい状態になるということです。※大不況とは言え我々みたいな中小企業は心配ありません。

そんな2021年以降に勝っている会社は必ず採用を強化していた会社であるし、不況時に社員一丸となって生き残れる会社が一番強いと思っていました。私が思う強い会社とは、どんな不況や激変する社会にも耐える事ができ、事前に変化に対応できる組織である事だと考えています。

つまり、同じ方向性を見られて、価値観の合う社員がどれだけいるか？に尽きると思います。企業は人なりという言葉があるように、人が生み出す組織力が弱ければ会社は衰退するし、逆を言えば強ければ強いほど企業の強みに比例します。私は今回の経営方針発表会でキーマンとなる人が増えてきている実感も沸いたし、2020年度卒業の内定者の参加メンバーの顔を見たときに、6年前から思い描いていた2021年以降の勝負に勝てる自信が湧いてきました。これから火の魂カンパニーは地域になくてはならない存在に必ずなります。新卒社員は私が思い描くビジョンに共感して入社しているわけですから、彼ら彼女らが力をつけ会社全体で力を発揮する日が間もなく訪れます。気持ちだけで入社を決めた新卒社員ですが、その気持ちが一番大切であり火の魂カンパニーになくてはならない存在に必ず成長していけるので、既存スタッフは彼ら彼女らの成長に貢献してくれたらうれしく思います。